

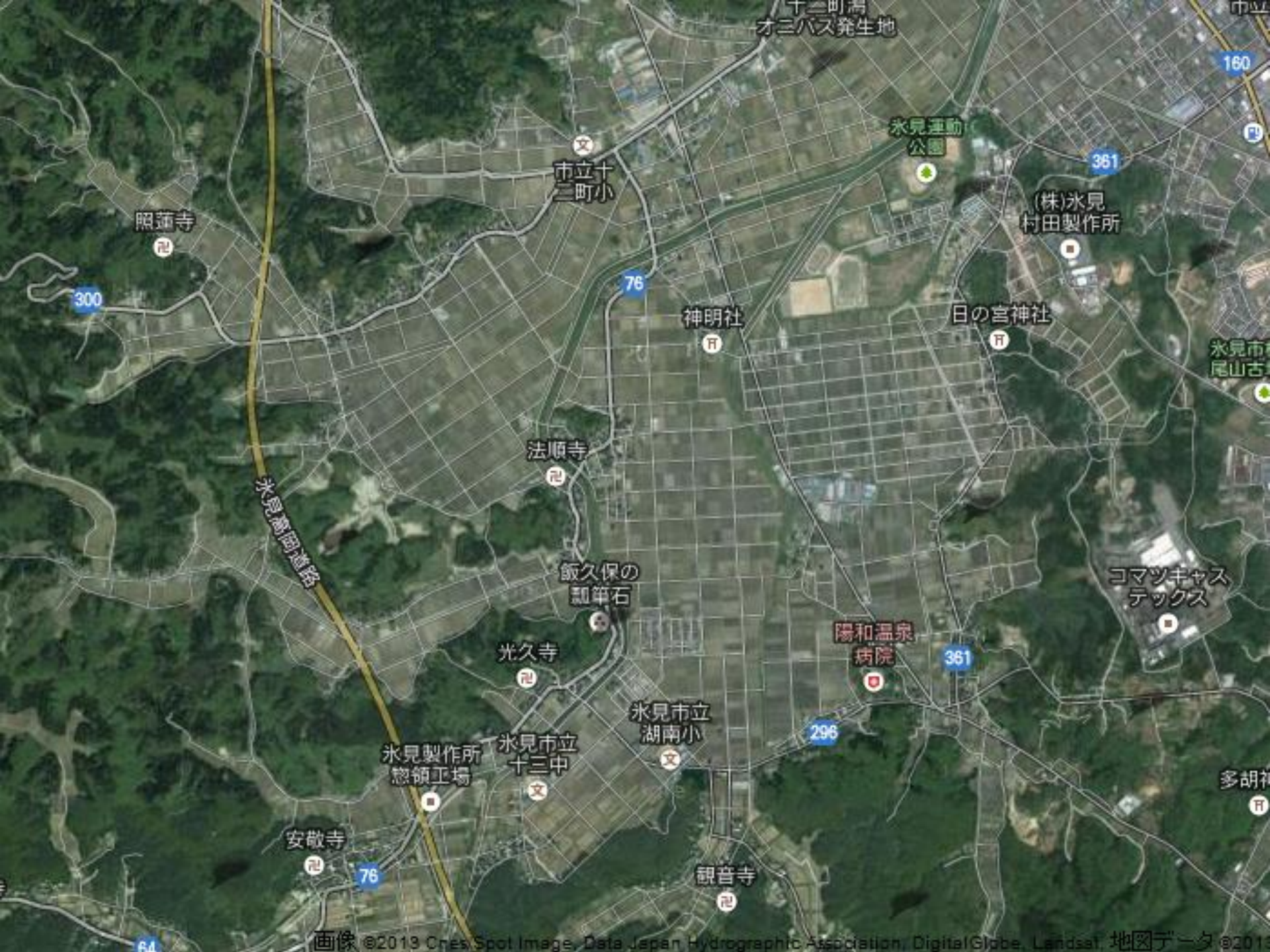
布勢地区まちづくりふれあいトーク

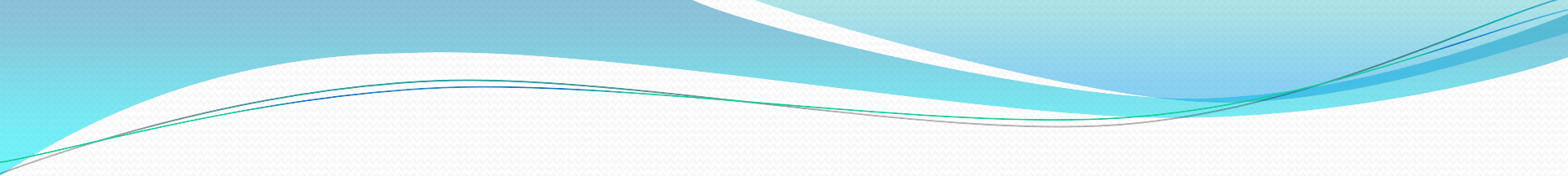


—ふれあいトーク—

1. 農地基盤整備の促進について

農業後継者の保持育成や 環境保全、耕作放棄地の解消





2 鳥獣害対策の推進について



—ふれあいトーカー—

イノシシによる農作物被害及び捕獲檻 による捕獲数の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
被害面積(ha)	0.3	3.9	4.2	9.2	
被害額(万円)	36	175	493	998	
捕獲数(頭)		2	0	25	87

※H25は10/27現在

イノシシ対策

- 1 イノシシの侵入防止対策
- 2 イノシシの捕獲
- 3 県内市町村との連携
- 4 集落ぐるみの対策の実施

地区別の電気柵の延長

地区	集落	総延長(m)			
		23年度	24年度	25年度	計
女良	中田		13,360	1,500	14,860
	中波		2,300	1,800	4,100
	脇		5,100		5,100
	姿			1,600	1,600
	平沢		7,800		7,800
	長坂		4,350	2,500	6,850
	吉岡		5,100	1,100	6,200
	平	5,280			5,280
宇波	白川		5,100	1,400	6,500
	戸津宮			1,900	1,900
	五十谷	4,280			4,280
八代	北八代	7,180			7,180
	針木		4,520		4,520
	磯辺			1,100	1,100
	吉滝			1,165	1,165
	森寺			2,500	2,500
	藪田			1,200	1,200
	小滝		8,050	1,200	9,250
	胡桃	13,580			13,580
	中田浦	4,410	2,000		6,410
	村木	4,940			4,940
碁石	味川		2,200	1,000	3,200
	一芻		5,320	1,600	6,920
	上余川		8,200	1,100	9,300
	懸札		7,290	1,700	8,990
	吉懸		5,380	1,500	6,880
	寺尾		500	1,000	1,500

地区	集落	総延長(m)			
		23年度	24年度	25年度	計
余川	余川		4,000	1,700	5,700
上庄	柿谷			2,050	2,050
速川	日名田		7,800	1,100	8,900
	葛葉		3,400		3,400
	小窪			1,200	1,200
	早借			2,260	2,260
	三尾			2,100	2,100
	床鍋			1,400	1,400
久目	赤毛			4,800	4,800
	触坂			1,500	1,500
	桑院			1,600	1,600
	岩瀬			2,400	2,400
	坪池			2,400	2,400
	土倉		4,200	1,500	5,700
	久目		1,000		1,000
熊無	論田			1,800	1,800
	熊無			1,500	1,500
仏生寺	細越			1,400	1,400
	鞍骨			1,200	1,200
	上中			1,100	1,100
	吉池			1,100	1,100
	脇之谷地		2,950	1,300	4,250
神代	神代			1,500	1,500
計	50集落	39,670	109,920	63,775	213,365

捕獲檻の設置地区

年度	購入数	設置地区(1箇所につき1個)
平成22年度	2	中田浦、高戸
平成23年度	10	戸津宮、中田、中波、三尾、胡桃、森寺、寺尾、赤毛、五十谷、土倉
平成24年度	12	平沢、宇波、戸津宮、白川、城戸、加納、余川、論田、鞍骨、吉池、坪池、棚懸
平成25年度	17	



—ふれあいトーク—

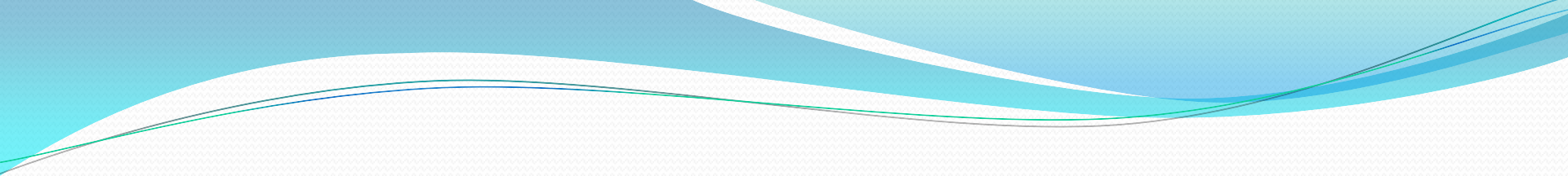
3. 十三中学校の教育環境整備について

- ①技術室(築50年)の老化と耐震について
- ②美術室(プレハブ造り)の環境整備
- ③暖房設備の改修
- ④斉藤弥九朗翁剣道場速設
- ⑤プールの存続(撤去)とグラウンド整備







- 
- 4 ①湖南小学校周辺道路整備と駐車場の確保について
- ②布施深原地内堤防通学路の検討について



—ふれあいトーク—



5 布勢の丸山(大伴家持万葉集) の環境整備について

観光コース組み入れ等の検討と
環境整備



—ふれあいトーク—

6 ムジカグラート氷見の活動への 応援体制の確立について



7 能越道南インター(仮称)完成 に伴う周辺地域開発計画につ いて

能越自動車道 氷見南 I C (仮称) 設置計画箇所



氷見市惣領地内 氷見IC方向

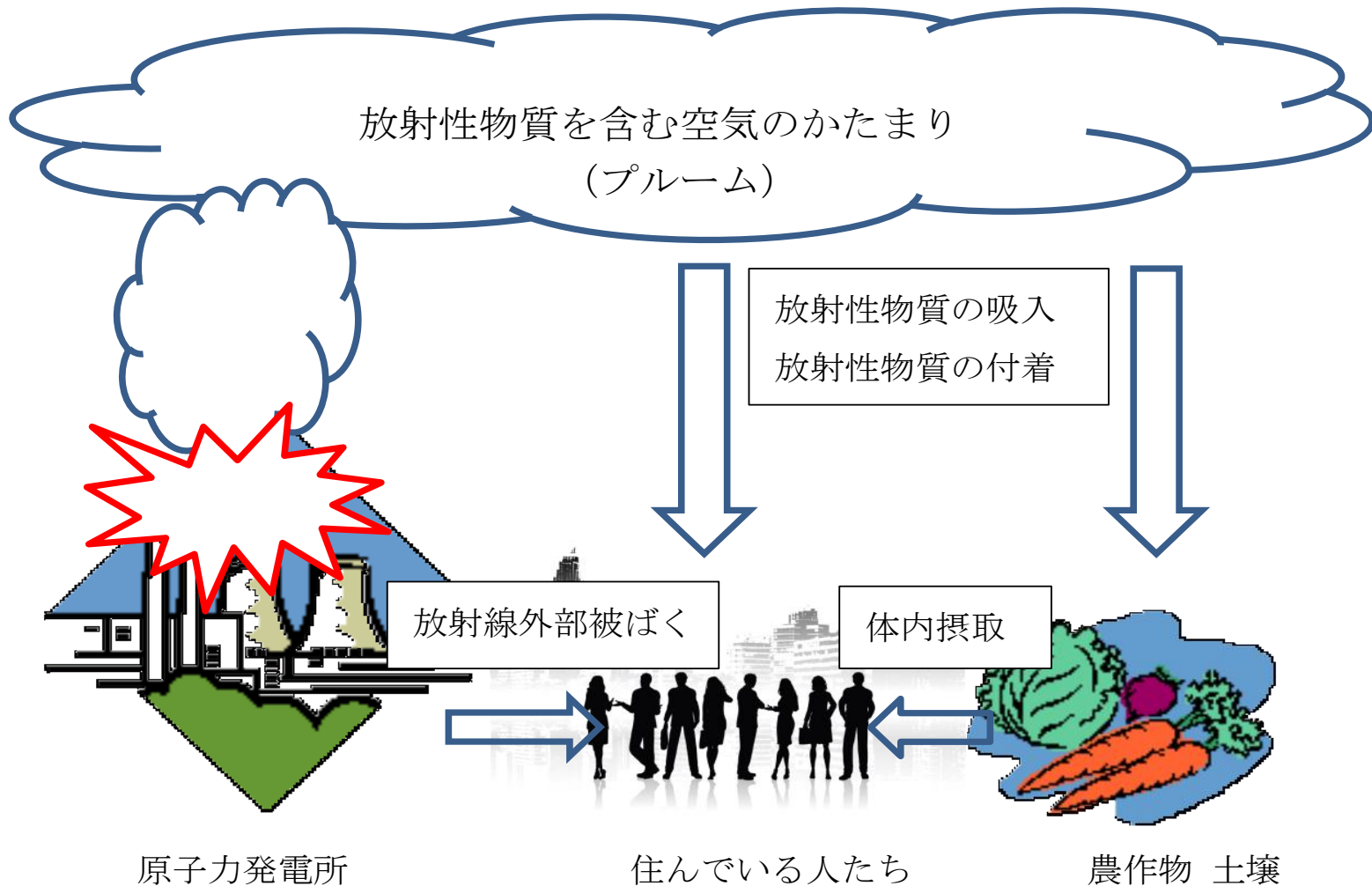
8 原発30kmの明確な範囲と災害発生時の対処指針の提示について

氷見市地域防災計画 (原子力災害対策編) 概要

氷見市

原子力災害の概念

(放射性物質の異常な水準での放出)



原子力防災対策重点区域

緊急時防護措置を準備する区域:UPZ

(国が目安とする30km圏内にその全部又は一部が含まれる行政区)

加納	加納(谷内、※中程)
稲積	上稲積、※下稲積
上庄	※大野、泉、※中尾、上田、柿谷、七分一、中村、
熊無	谷屋、新保、論田、熊無
速川	小窪、田江、早借、小久米、日詰、日名田、三尾、床鍋、葛葉
久目	久目、※触坂、※棚懸、岩瀬、老谷、見内、
余川	余川
碁石	上余川、寺尾、懸札、吉懸、一匆、味川、
八代	吉滝、磯辺、針木、角間、小滝、国見、胡桃、
阿尾	※阿尾、指崎、森寺、北八代
薮田	※薮田、※小杉、※泊
宇波	※宇波、※脇方、※小境、※大境、白川、戸津宮、大窪、五十谷
女良	※姿、中田、※中波、※脇、長坂、平沢、吉岡、平

※印:一部UPZ圏内に含まれる行政区

施設での緊急事態の区分

発電所の状況に応じて、緊急事態を3つに区分

緊急度

少

1 警戒事態(防護の準備)

震度6弱以上の地震発生、大津波警報発令など

2 緊急事態(屋内退避の準備開始)

全交流電源喪失(5分以上喪失)など

3 全面緊急事態

(屋内退避実施、避難準備開始)

原子炉停止不能など

大

さらに、事態が深刻化し、万が一 放射性物質が放出された場合

- ・ 緊急時モニタリングによる測定結果に基づき、防護措置を実施する基準(OIL)

500 μ SV/h $\Rightarrow$ 数時間以内に避難を開始

20 μ SV/h $\Rightarrow$ 1週間程度内に一時移転

【参考】

- ・ CT撮影1回の医療被ばく線量
およそ10mSV(10,000 μ SV)

市民への的確な情報伝達体制

市民のみなさんに、防災情報を伝達します。

(情報伝達手段)

- ・防災行政無線(市内133箇所)
- ・防災ラジオ
- ・能越CATV
- ・広報車
- ・報道機関
- ・緊急速報メールなど



屋内退避の指示が出た場合

自宅、職場、最寄りの公共施設などの屋内に入る。
屋外で通報を受けた場合は、タオルやハンカチで口を覆う。

	折りたたみ数	除去効率(%)
男性用木綿ハンカチーフ	16	94. 2
男性用木綿ハンカチーフ	8	88. 9
けばの長い浴用タオル	2	85. 1
ぬれた女性用木綿ハンカチーフ	4	63. 0

出典：公益財団法人 原子力安全技術センター「原子力防災ポケットブック」

★外から帰ってきたら、顔や手を洗い衣服を着替える。
(タオルやハンカチ、着替えた衣服はポリエチレン袋に
保管しましょう)

屋内退避の対策

ドアや窓を全部
閉めてください。



換気扇などを
止めてください。



外から帰って
きた人は顔や手を
洗ってください。



防災行政無線、
ケーブルテレビ、
広報車、ラジオ・
テレビなどの
正しい情報を。



食品にフタをしたり
ラップをかけてください。



屋内退避を実施した場合の効果

木造建屋

- 放射性ヨウ素による甲状腺が受ける線量は4分の1から10分の1になります
- 外部被ばくに対して約10%低減されます



コンクリート建物

- 放射性ヨウ素による甲状腺が受ける線量は、20分の1から70分の1になります
- 外部被ばくに対して約80%低減されます



避難の指示が出た場合

- 避難の際は、自家用車両など様々な手段を利用
- 自家用車両による避難が困難な市民等については、近所の乗合若しくは、市等が準備する車両等により避難を行う。
- 避難にあたっては、災害時要援護者等に十分配慮する。

布勢地区まちづくりふれあいトーク

